

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

1.15

	目次
市民の広場(泉校区・神戸保育園)	2
私の歩み方(太田剣さん)	3
若戸校区	4
学校は今…	5
意欲的な学習への取り組み	5
たはらシティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

知ってほしいな
伝統の風景!



泉校区と神戸保育園

日ごろの活動を一コマ紹介

今回は、広報たはらに寄せられたさまざまなご意見の中から、「地域の活動を知りたい!」「保育園での生活を紹介して!」の声にお応えして、泉校区と神戸保育園の活動をご紹介します。



●満開の寒ツバキを前に、笑顔も満開!

昨年12月18日(金)に、泉中学校前の国道259号沿いに植えられた寒ツバキの手入れを、泉校区の役員の皆さんと泉小学校の児童ら90名が合同で行いました。この寒ツバキは、昨年6月に泉小学校の児童や地域住民たちの手で植えられたもので、草取りや追肥などがされました。

昨年12月17日(木)に、神戸運動公園で神戸保育園児69名が凧揚げを楽しみました。この凧は、園児の手作りで、今年の干支の寅やお気に入りの絵を描いた力作ぞろい。園児たちは糸を伸ばすと全力疾走!凧が揚がるとうちのあちらこちらで歓声があがっていました。



●大喜びで広場内を走りまわる園児たち

HEADLINE

市政の話題

ヘッドライン

副市長に林勇夫氏

菰田信幸氏が12月末をもって副市長を退任されたことに伴い、12月18日(金)に開かれた市議会定例会で、林勇夫氏が副市長になることとの同意を得て選任されました。任期は、平成22年1月1日から平成25年12月31日までです。

林勇夫氏は、元田原市建設部長で、今後は副市長という立場から市の発展と福祉の向上に携わりま

す。なお、前任の菰田信幸氏は、平成20年6月1日から副市長を務められました。



▲林勇夫副市長

▼人事課

☎ 23局7404

FAX 23局0180

各分野で活躍する田原市出身の方を不定期でご紹介します。

おおたけん

太田剣さん (福江町生まれ)

ジャズサクソプレーヤー・作曲家・プロデューサー

●福江小学校・福江中学校で少年期を過ごし、早くからピアノ、トランペット、サクソに親しむ。早稲田実業学校高等部に入学し、吹奏楽部でクラシック音楽を演奏しつつ、ジャズに開眼。早稲田大学に入学し、さまざまなアーティストとの交流やレッスンを通じて、ジャズの見聞を広める。大学卒業後、国内ジャズ・シーンで頭角を現し、2003～2006年にはカーオーディオメーカーのCMにも起用される。2006年自身のファーストアルバム『Swingroove / 太田剣』リリース。現在、東京でのライブ活動を中心に、レコーディングセッションへの参加やプロデュースワークを行っている。

▶公式サイト <http://kenota.net/>



少年時代、伊良湖でジャズと出会う

—子どものころの思い出は？—

【太田さん】 福江で自然に囲まれ、のんびりと好きなことに打ち込んでいましたね。祖母が作ったトウモロコシを食べたり、セミやトンボを追いかけたり、四季を感じながら生活していました。太平洋や三河湾に面する温かな土地柄なので、物事を素直に感じる性格はこの地で培われたものだと思います。

—これまでの道のりは？—

【太田さん】 ジャズとの最初の出会いは、父が勤めていた伊良湖ビューホテルで藤家虹二さん（ジャズ演奏家）のクラリネットを聞いた時です。中学校からギターを始めるつもりでしたが、この夜の感動からサクソを手にしました。大学入学後にジャズを始め、卒業後、プロのミュージシャンとして活動しています。音楽を仕事として生きていくということは、想像よりもはるかに大変で、自分のセンスをアツプデットしていきながら、日々の演奏に勝負をかける険しい道なのですが、いろいろな瞬間に感じるこの上ない喜びは、自分にとってかけがえのない大切なものです。

—活動にまつわるエピソードをぜひ。

【太田さん】 ロックやポップスなどと異なり、同じメンバーでのバンド活動がまれなジャズは、さまざま



まなミュージシャンと共演を繰り返し、互いの感覚を受容し、アピールしながら高め合っていくものです。ですから、自分が居場所や演奏ジャンルを限定せず、オープンな気持ちで居られれば、さまざまな音楽のスペシャリストと接することが出来ます。矢沢永吉さんのバンドに呼んでいただいた時に、リハーサルでも本番さながらの集中力とパフォーマンスで臨む矢沢さんのプロとしての姿には、心底シビれました。また、映画『デイズ・イズ・イット (Days Is It)』で見たマイケル・ジャクソンの姿も同じで、やはり多くの人を感動させるアーティストは、才能におごることなく努力を続けているのだと実感し、自らの音楽人生への決意に大きな力をもたらした気がします。

—田原市へメッセージを。

【太田さん】 渥美半島で育ったことは僕の人生の幸せの一つで、今も愛する故郷ですから、この土地とそこに住む皆さんが受け継いで来た伝統や慣習を大切にしながら、未来へ向けて発展されることを願っています。僕にとってジャズを始めるきっかけとなった人との出会いがあったように、今度は僕が、この地でこれから大人になっていく若者に今生きる音楽を示し、現在の田原市を支える皆さんにとって、少しでもその心の糧となるような演奏が出来たらいいなと思います。これからも精進し、素晴らしい音楽の創造にまい進していきたいと思っています。そしてまた、故郷の田原市で演奏できるよう頑張ります。応援よろしくお願いします。



◆2004年2月には、田原文化会館で“凱旋ライブ”を行った。

若戸



基礎データ

【人口】1,920人(H21.11.30現在)
 【世帯】497世帯(H21.11.30現在)
 【面積】約810ha
 【公共施設】若戸保育園・若戸小学校・赤羽根漁港
 【史跡】越戸大山原生林・鬼墮古墳群・小今口遺跡
 【主な産業】農業・漁業

●小山から太平洋を望む

校区の特徴

若戸校区は、北側に半島を縦断する山並が連なり、南側に太平洋が広がる自然豊かな地域です。

海岸付近を東西に走る国道42号沿いに、東から池尻・若見・越戸の3地区が並んだ、施設園芸が中心の温暖な農村地域です。

隣近所の結び付きが強く、世代間の交流も活発で、防災訓練や清掃活動などの地域活動へも、住民が積極的に参加しています。

校区の歴史は、縄文時代の終わ



りごろ(約2300年前)から始まりました。小今口遺跡からはこの時代の石器や土器などが発見され、当時の人々の営みがうかがえます。また、今から1300年ほど前の古墳時代に、この地域を治めた豪族の墓である珍平古墳、鬼墮古墳が発見されています。このように古くから人々が暮らした地域です。

地域の自然

校区の西側に位置する大山は、高さ328mで田原市最高峰です。南側の山すそに位置する白山比咩神社には、樹齢100～200年を超える多くの巨木があり、「たはらの巨木・名木100選」にも9本が選ばれています。ここは大山原生林として、田原市内では唯一の「三河湾国立公園第1種特別地域」に指定され保護されています。



●白山比咩神社のヤマモモ

太平洋に面した海岸は、アイナメ・カサゴ・キスなどを狙う絶好の投げ釣りのポイントとなっています。さらに、近年はサーフィンを楽しむ若者も多く訪れています。

また、「渥美半島キラリ100

選」に選ばれた「竜宮」という岩場があり、ここには、かつて塩を作るために海水を汲んでいた井戸がありましたが、現在は砂浜の侵食により水没しています。



●越戸海岸

お花畑と夜景

「常春の里」の気候を利用して、明治末期から栽培された「渥美絹莢豌豆」の連作を防止するため、昭和初期からキンセンカ・ノボリフジなど、露地の花き栽培が盛んとなりました。これらはかつて、「お花畑」として渥美半島の印象的な景観となっていました。現在は施設園芸が盛んとなり、電照菊が闇に浮かぶ幻想的な夜景に移り変わっています。



●かつての“お花畑”(昭和52年)



学校は、今…

SCHOOL REPORT 18
意欲的な学習への
取り組み

学校では、大人になっても学ぶ意欲をもてるように、子どもたちが、周りの人と考えなどをわかりあう機会を大切にしています。今回は、意欲的な学習への取り組みについてご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679



地域とつくる総合的な学習(伊良湖小学校)

伊良湖小学校では、5年生の呼びかけで始まった米作りに挑戦しました。昨年4月からの田んぼ作り、田植え、稲刈りなど、初めて体験することばかり。田んぼ作りは、PTAの方々奮闘。田植えでは、田んぼの中で子どもたちは思うように動けず、苦労したようです。10月26日には、祖父母学級として全校児童で餅をつきました。子どもたちは、祖父母やPTAの皆さんから餅のつき方や、あんこのつめ方などを教えてもらい、楽しく食べることができました。米作りは大変でしたが、子どもたちにとって、とてもよい学習になりました。



▲米作りの達人に教わりながら、稲刈りをする子どもたち



▲「チュウモクン」のフリップを使って発表する生徒

自分の考えを発信する学習(赤羽根中学校)



赤羽根中学校では、自分の考えや思いを仲間に伝え、学び合う生徒になって欲しいと願い、授業改善に取り組んでいます。2年生の社会科では、『江戸幕府最後の戦い、きみはどっちにつく?』の授業で、同じ考えのグループをつくり、発表し合いました。1年生の技術科では、「チュウモクン」というフリップを使って、まとめを発表しました。実演やテレビ画面で説明するグループもあり、意欲的な授業になりました。生徒たちは、考えをみんなで分かり合うことの大切さを学ぶことができました。



かかわりあう小集団学習(泉中学校)

泉中学校では、2～6名程度の小集団で、何でも聞き、言い合える雰囲気づくり、一人ひとりが考え発言し、活動する学習を行っています。10月23日には、100名以上の参観者を迎え、公開授業を行いました。国語の授業で、『ふるさと泉 再発見』と題して、各自が調べた泉の歴史や農業など、ふるさとのよさを文章に表現することに挑戦しました。公開授業では、4人グループで、作文の構成について話し合いました。一生懸命に発表する姿や、真剣に発表を聞き、アドバイスし合う姿が見られました。



▲1年生の国語「ふるさと泉 再発見」の公開授業の様子



▲全国各地から集まった93チームが激闘を繰り広げました

12月20日 日

風光明媚な
渥美半島を力走

渥美半島の冬の風物詩、**渥美半島駅伝競走大会**が開催されました。伊良湖岬を起点に、女子は赤羽根市民センター、男子は豊橋技術科学大学のゴールを目指すこの大会。沿道から送られる熱い声援を力にかえて、どの選手も快調な走りを見せていました。



▲市長から激励を受ける伊良湖岬分団1号車の皆さん

12月28日 月

年末の安全も
見守ります！

12月28日(月)～30日(水)の3日間、**田原市消防団年末夜警**が行われました。これは、火災予防と早期発見を目的に毎年行われるものです。消防団員たちは、消防車両で地域を巡回し、「火の用心」を呼びかけて、まちの安全を見守ってくれました。



▲「手ごたえをつかんで走りたい」と意気込みを語った近並さん

12月11日 金

師走の都大路で
たすきをつなぐ

全国高校駅伝競走大会に出場する県立豊川工業高校陸上部の近並郷さん(2年・泉中学校出身)が、市長を表敬訪問しました。近並さんは「伝統を受け継ぎ、後輩につなぐ走りをして欲しい。体調管理に気をつけて頑張る」と市長から激励を受けました。



田原市民活動支援センターのページ

「第3回 しみんのひろば」を開催します!

田原の市民活動・交流と活動発表の場、「しみんのひろば」は今年で3回目を迎えます。『おもしろいじゃん!市民活動 やるじゃん!田原人』のサブタイトルそのままに、やる気の市民が運営してきました。市民の自主企画をみんなでサポート…市民協働課が市民提案を後押しします。このスタイルを貫いて、結果、本当にやる気のある人たちが集まっての協働事業になっています。さあ今回も、どんな事が始まるのかな? まちが元気になること、請け合いです! たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています!

2/21
(日) 10:00~15:00

田原市
総合体育館
周辺にて

『まちを元気に!』

運営協力は現在、以下の**32**団体!

- JA愛知みなみ助け合い組織
- あかばねひらがなの会
- 渥美混声合唱団
- 渥美太鼓「願成観音太鼓」
- 渥美農業高等学校
- 渥美半島の野池を守る会
- NPO法人渥美半島ハイキングクラブ
- あつみロビーコンサート運営スタッフ会
- NPO法人うたた
- NPOエコウィンドネット
- 環境ボランティアサークル亀の子隊
- くぬぎの会
- 子どもネイチャー教室
- 汐川を美しくする会
- 自然農業塾ほんとうの農業小屋
- シデコブシ



- 女性会議WITウィット
- 託児所KID'S WORLD
- たはら国際交流協会
- NPO法人田原菜の花エコネットワーク
- NPO法人たはら広場
- 田原UC (TAHARA United Children)
- 手作り布絵本・ハンドの会
- 図書館フレンズ田原
- にんじんの会
- ぬりえやさん
- NPO法人はっくるベリーじゃむ
- NPO法人東三河水環境連絡会
- ヒップファミリークラブ
- 人づくりネットワークメリーゴーランド
- 廻屋農園
- NPO法人ゆずりは学園

田原市民活動支援センター情報

センター主催のイベントをご紹介します。お問合せは最下記の市民協働課まで。

日時	内容	会場ほか
2/21(日) 10:00~12:00	第5回 市民活動相談会 (*「第3回 しみんのひろば」↑と同時開催)	アドバイザー/岡田安弘氏(田原市社会福祉協議会総務課課長補佐) 田原市民活動支援センター » 社会福祉協議会のこと、福祉やボランティアのことなど、お気軽にご相談ください
2/27(土) 10:00~12:00	第4回 市民活動コーディネーター養成講座 ~コーディネートの実際/その2~	講師/神谷典江氏 (とよかわボランティア市民活動センター・コーディネーター) 田原福祉センター 3F大会議室
14:00~17:00	第6回 市民活動相談会	アドバイザー/神谷典江氏(同上) » 市民活動に関する困難や悩みなどに、専門家がお答えします

今後の市民活動ニュース

2月に行われる、市民活動団体主催のイベント情報をご紹介します。

日時	内容	会場ほか	連絡先
2/7(日) 10:00~16:00	第7回 あつみNPOの集い	渥美文化会館 多目的ホール、ラウンジほか 内容:基調講演(坂本佳一氏)、 パネル展示、ブース、ステージ発表など *講演整理券の申込みは右記まで	あつみNPOネットワーク事務局 090-9226-1997(北原) Tel/Fax (0531)32-3963(森下) 090-8548-6926(宮川)
2/21(日) 9:30~15:00	雨乞山タコウド展望 クリーンハイキング	対象:どなたでも 参加費:1000円(中学生以下500円) *事前に申込みが必要、右記まで	NPO法人渥美半島ハイキングクラブ Tel/Fax (0531)38-0310 090-7863-3229(鈴木)

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています(毎週金・土・日午後2~7時、田原文化会館フリースペース)。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です! *紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 市役所市民協働課 TEL: 0531-23-3504 FAX: 0531-23-0180 Email: kyoudou@city.tahara.aichi.jp
紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター





募集

WANTED

Coppoパートナーシップ事業 きのこ菌打ち体験 参加者



衣笠学習の森で
間伐した木を「ホダ木」として、シイタケ・ヒラタケの菌打ち体験を開催します。菌打ちした「ホダ木」は各種1本お持ち帰りできます。昼食時には、みそ汁のサービスも行いますので、ぜひご参加ください。
▼対象 小学生以上（ただし小学生は保護者同伴） ▼日時 2月28日（日）午前9時30分～午後3時（雨天決行） ▼場所 衣笠学習の森・ふ

れあい広場（集合場所は衣笠市民館）

▼定員 70名（先着順） ▼参加料 無料 ▼持ち物 弁当・飲み物・軍手・筆記用具・雨具・おわん・はし ▼服装 ホダ木切りや木の片付けなど、森での軽作業が行える服装 ▼申し込み 2月1日（月）から電話にて
▼街づくり推進課
☎ 23局 3523 FAX 22局 3811

普通救命講習会 受講者

いざという時に備え、心肺蘇生法とAED（自動体外式除細動器）の取り扱いを学ぶ普通救命講習会を開催します。

▼対象 市内在住・在勤・在学の方
▼日時 2月7日（日）午前9時～正午 ▼場所 消防署 ▼定員 20名（先着順） ▼受講料 無料
▼申し込み 2月6日（土）までに直接または電話・FAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は、住所・氏名・生年月日・性別・電話番号・職業を明記） ▼その他 講習を修了した方に修了証を交付
▼消防署
☎ 23局 4075 FAX 23局 2440
✉ syoubous@city.tahara.aichi.jp

愛知県消費生活モニター

【モニターの主な仕事】

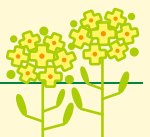
- 日常生活の中で危険と思われる商品・不当な表示・悪質商法・生活必需品の価格動向などの観察・通報
- 調査・アンケートの回答（年4回程度）
- 生活必需品などの需給・価格調査
- 消費者行政に関する意見・要望の提出
- 地域・周囲などへの消費生活に関する情報の提供
- 研修会（年1回の予定）への出席



▼対象 満20歳以上の愛知県内在住者（公職者を除く） ▼任期 4月の依頼日～平成23年3月31日 ▼謝礼 年額7000円（予定） ▼申し込み 1月25日（月）～2月19日（金）に市役所商工観光課または東三河県民生活プラザにある申込用紙（県ホームページからもダウンロード可）に必要事項を記入し提出
▼東三河県民生活プラザ
☎ (0532) 52局 7337
FAX (0532) 52局 7388
http://www.pref.aichi.jp/kenmin/shohiseikatsus/monitor/

パブリックコメント 意見募集!

パブリックコメント手続制度に基づき、以下の案件について意見を募集します。



「田原市次世代育成支援行動計画」中間評価案について 募集期間 ▶ 1月25日（月）～2月24日（水）

田原市次世代育成支援行動計画は、「子どもたちが健やかに元気に成長し、笑顔があふれるまち」をめざし、社会全体で子育て支援を推進していくための計画で、今後5年間の計画を策定します。

担当課 ▶ 子育て支援課 ☎ 23局 3513 FAX 23局 3545
✉ jidou@city.tahara.aichi.jp

意見提出方法

- ① 公表場所へ持参 ② 郵便 ③ FAX ④ Eメール
住所・氏名・電話番号を明記のうえ、意見を提出してください。（個々の意見には直接回答いたしません。）

計画案の公表場所

市役所子育て支援課、赤羽根市民センター（旧赤羽根支所）、渥美支所市民生活課、中央図書館、市ホームページ
http://www.city.tahara.aichi.jp/



生活

指定管理者を指定

平成21年12月市議会定例会での審議、議決を経て、次のとおり田原駅南公共駐車を管理運営する指定管理者を指定しました。

▼施設名 田原駅南公共駐車場

▼指定管理者 株式会社あつまる

▼タウン田原 ▼指定期間 田原市公共駐車場の設置及び管理に関する条例の施行の日から平成27年3月31日まで ▼担当課 街づくり推進課 (☎23局3535)

▼財政課

☎23局3591 FAX23局0180

第6回農畜産物フェア 「うまいうまー田原」

今年も、渥美半島の新鮮で安全な農畜産物の即売を中心とした、地元農業者の皆さんによる地域農畜産物のPRイベントを開催します。皆さん、ぜひご家族でお越しください。

▼日時 2月14日(日) 午前10時

〔午後2時〕▼場所 サンテパルク たらら サンテドーム内 ▼内容 農畜産物の即売コーナー、体験コーナー(鉢物寄せ植え、凧づくり)、餅つき、地元農産物を使った大鍋コーナー、各種模擬店、イベント、子ども向けアトラクション、農産加工品販売など

▼農業者のつどい実行委員会

(東三河農林水産事務所田原農業改良普及課内)

☎22局0381 FAX23局1304

社会教育施設使用料の見直し 学校体育館・武道場を有料化

市内にある社会教育施設の、使用料の格差を解消するため、同種・同様の施設ごとに使用料の統一化を図ります。また、受益者負担の観点から、学校施設開放による小中学校の体育館・武道場の利用が有料になります。実施の時期については、それぞれ平成22年4月1日以降の利用分から適用されます。主な市民利用の場合の改正内容は、下記のとおりです。なお、使用料の減額・免除の取り扱いは従来どおりです。

※詳しくはお問い合わせください。

▼生涯学習課

☎23局3531 FAX22局3811

社会教育施設・学校体育館・武道場使用料

施設名称	改正前	改正後
滝頭・緑が浜・赤羽根文化広場テニスコート	使用料無料 照明310円/1時間	200円/1面1時間 照明200円/1面1時間(滝頭を除く)
中央公園・渥美運動公園テニスコート	210円/1面1時間 照明310円(中央)・100円(渥美)	200円/1面1時間 照明200円/1面1時間
滝頭公園・緑が浜緑地野球場	使用料無料 照明5,250円/2.5時間(滝頭のみ)	300円/1時間 照明2,000円/1時間(滝頭のみ)
渥美運動公園野球場	310円/1時間 照明1,050円/1時間	300円/1時間 照明1,500円/1時間
滝頭公園・緑が浜運動公園多目的広場	使用料無料 照明4,200円/2.5時間(緑が浜のみ)	300円/1時間 照明72灯1,500円・48灯1,000円/1時間(緑が浜のみ)
赤羽根文化広場・渥美運動公園多目的広場	530円(赤羽根)・310円(渥美)/1時間 照明1,010円/30分(赤羽根のみ)	300円/1時間 照明1,500円/1時間(赤羽根のみ)
白谷海浜公園陸上競技場	使用料無料	400円/1時間 個人使用大人100円・子供50円
田原市総合体育館	スポーツ520円/1時間 スポーツ以外1,050円/1時間 照明520円/1時間 ※個人使用可	スポーツ・スポーツ以外を問わず600円/1時間 照明300円/1時間 ※個人使用枠を廃止
渥美運動公園体育館	420円/1時間 照明210円/1時間	600円/1時間 照明300円/1時間
赤羽根農業者トレーニングセンター体育館	照明料金無料	照明100円/1時間
田原市総合体育館・渥美運動公園武道場	170円(田原)・210円(渥美) ※個人使用可 30~50円/1回	200円・照明100円/1時間 ※個人使用枠を廃止
中央公園弓道場	照明料金無料	照明100円/1時間
田原・赤羽根・渥美文化会館	文化ホール:1,400~2,540円/1時間 会議室:170~420円/1時間 和室:60~310円/1時間	文化ホール:1,500円/1時間(単位:午前・午後・夜間) 会議室:200円~300円/1時間 和室:100円~200円/1時間
緑が浜運動公園センターハウス	研修室A・B、和室は使用料無料	研修室A・B各150円/1時間 和室100円/1時間
学校施設開放小中学校体育館(27校)	使用料無料	100円/1時間(登録団体が使用する場合)
学校施設開放中学校武道場(4校)	使用料無料	100円/1時間(登録団体が使用する場合)

広がる未来へ

地球温暖化防止②

昨年12月16日に開催された、たはらエコ・ガーデンシティ地域協議会において、毎日の暮らしの中で省エネ行動などに取り組むたはらエコチャレンジ宣言取組の表彰者と地球温暖化防止啓発ポスターの入賞者が決定されました。表彰者（大賞および最優秀賞のみ）は以下のとおりです。
※敬称略・順不同

たはらエコチャレンジ宣言

エコチャレンジ大賞

● 個人・団体・グループの部
松下令奈（加治町）

● 学校・事業所の部
株式会社サンワ産業（緑が浜）

地球温暖化防止啓発ポスター最優秀賞

● 小学校低学年の部
岩本泰知（高松小学校1年生）

● 小学校高学年の部
渡邊啓介（若戸小学校6年生）

● 中学校の部
岩崎ゆめ（田原中学校3年生）

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

45

地球温暖化防止啓発ポスター最優秀賞作品



中学校の部
岩崎ゆめさん



小学校高学年の部
渡邊啓介くん



小学校低学年の部
岩本泰知くん

※啓発ポスター入賞者の作品を、ホームページ上で公開していますので、ぜひご覧ください。

● たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人603人・事業所20か所（12月末現在）

▼ エコエネ推進室

☎ 23局7401 FAX 23局0180

HP <http://www.city.tahara.acchi.jp/>



省資源とリサイクル

今、家庭で使い終わったてんぷら油（廃食用油）などは、固めるか、紙に吸わせるなどして、「もやせるごみ」で出してもらっています。この油もリサイクルできることを、皆さんはご存じですか？今回は、油のリサイクルについてご紹介します。

活用方法は？

● せっけんろそうそくとして利用

● 飼料工業原料として利用

● バイオディーゼル燃料として利用

市役所では、給食センターや市内の飲食店から集めたてんぷら油を、軽油代替燃料であるバイオディーゼル燃料に再生しています。再生されたバイオディーゼル燃料は、スクールバスや公用車、トラクターに使用しています。



残さず使い切る！

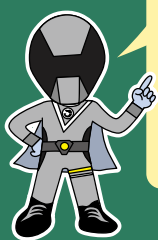
もう一度、料理に使うこともオススメです。炒め物などをする油に使いまわして使い切る。これも一つのリサイクルです。リサイクルすることで、「もやせるごみ」の減量化にもつながります。



家庭で手軽にできる活用方法の一つとして、使い終わったてんぷら油からの「廃油ろそうそく作り」があります。今回は、廃油ろそうそくの作り方についてご紹介します。

清掃管理課

☎ 23局65588
FAX 23局0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー



21

交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶ 広報秘書課 ☎ 2 2 局 0 1 3 8

友好都市 昆山市

今回は、田原市の友好都市・中華人民共和国江蘇省昆山市をご紹介します。

● 友好都市提携のきっかけ

昆山市との交流は、旧赤羽根町から引き継ぎ、平成17年に友好都市の再調印を行いました。

現在は、中学生の派遣や受け入れ、看護師研修生の受け入れなどの交流を行っています。

● 昆山市はこんなところ

昆山市は、上海の北西約50kmに位置し、面積は927km²、人口は約160万人、日本との時差はマイナス1時間です。

日本や台湾など外国企業が立地し、主な産業は商工業です。歴史的には、三国時代に呉の国の中心地として繁栄した地でもあります。



▲ 水郷のまち周庄

● 昆山市訪問団がやってきました



◀ 昆山市訪問団

愛知県栽培漁業センターでは、アワビ養殖について説明を聞きました

平成21年12月24日(木)・25日(金)の日程で、昆山市の訪問団5名が田原市を訪れました。

今回の訪問は、田原市長が平成21年10月に昆山市を訪問した際に話し合った「農業分野での交流」などの打ち合わせを行うためのもので、滞在中は、観光農園、サンテパークたはら、芦ヶ池、愛知県栽培漁業センターなどの視察を行いました。

- 応急手当
- できるだけ早くRICE処置
- ① Rest 安静
- ② Ice 冷たい水や氷のうで十分に冷やす



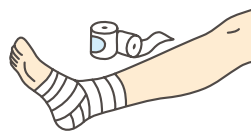
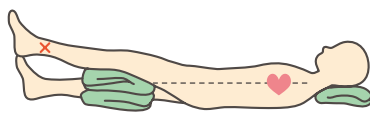
- 注意
- ・ 患部をもんだり、無理に動かしたりしないようにしましょう。
- ・ 十分な治療を怠ると、再発を繰り返したり、後遺症が残ったりする場合があります。適切な処置を受けましょう。

こんにちは、かんちゃんです。ケガなどをしたときに役立つ応急手当について、シリーズでご紹介しています。

今回は、「捻挫」です。捻挫とは、関節をねじったり、くじいたりすることで、関節をつなぐ靭帯や血管が傷つくことをいいます。

- ポイント
- ・ 患部を冷やす際には、冷却20分、休憩10分のサイクルで、凍傷にならないよう注意しながら数回繰り返しましょう。
- ・ 患部を圧迫する際、患部より先が変色したり、しびれたりする場合は、圧迫し過ぎですので、注意しましょう。
- なるべく早く医師に診てもらいましょう

▼ 防災対策課 ☎ 23局3548



かんちゃん

防災まめ知識

いざというときの応急手当 ⑤ 捻挫

56



忍びよる巨大地震

歴史探訪

クラブ

其の106

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

田原が誇る思想家・岡田虎二郎

新しい年を迎え、さまざまな問題を抱える現代社会において、今一度過去の優れた考え方を見直すことは、今を生きる私たちにとって大事なことではないでしょうか。

さて、「田原市ゆかりの偉人をあげよ」と言われれば、真っ先に名があがるのが、江戸時代に活躍した渡辺華山(かざん)でしょう。華山は、教科書にも登場し、国宝になっている絵を描くなど多彩な能力を持った人物です。全国的にも名が知られ、非業の



▲岡田虎二郎肖像

死を遂げたその生き方は、戦前の人たちに大きな影響を与えています。しかし、実際の影響度で言えば、これからご紹介する岡田虎二郎は勝るとも劣らないといえます。虎二郎は、自身が始めた「静坐法」を通じて、当時の人々の心身の改善を進め、近代の日本において最も人々に影響を与えた田原出身の思想家なのです。

岡田虎二郎(1872~1920)は、明治5年に田原藩士の子として田原に生まれました。家は裕福でないうえに病弱でしたが、高等小学校卒業後は農業に従事し、渥美郡農業主事となり、稲の害虫駆除法の開発で大きな業績を残しています。その後、農業行政に挫折した虎二郎は、30歳で天竜川の治水・護岸工事などを行った金原明善(きんげんめいぜん、1832~1923)の支援を受け渡米しました。渡米した当初の目的はわかりま



▲岡田虎二郎の生まれた屋敷跡(田原町)

せんが、英・仏・独語、哲学、宗教を広く学びました。そして、西欧の古い歴史や現在の生活の中から、民族や国境を越えて変わらないのは「大愛の心」であると悟りました。当時の宗教や思想のあり方に失望した虎二郎は、師となるものは「キリスト、釈迦、孔子、ソクラテス、二宮尊徳(にのみやそんとく)だけである」と言いました。このように、特定の宗教や思想に偏っていないのが、虎二郎の偉大さと言えます。

虎二郎は3年後に帰国し、人間本来の自然体形と呼吸法を基とした静坐法を創案しました。35歳で上京し、静坐法を形として、日本人の心身開

発に力を注ぎました。虎二郎の「静坐」は一世を風靡し、皇族・軍部・政治家・大学・会社の中心層の名士、芸術家、文士から庶民まで、さまざまな立場の人々に受け入れられました。田中正造(たなかしょうぞう、足尾銅山鉍毒問題に関わった政治家・社会運動家)や木下尚江(きのしたなおえ、小説家・社会運動家)は、もつともその影響を受けた人たちです。最盛期の正造・尚江は虎二郎のメロから、1週間休みなしで78か所も静坐の指導にまわったことが分かっています。虎二郎は、寝る間も惜しんで静坐の指導にあたったのです。なぜ静坐はこれほどまでに人々に受け入れられたのか、静坐によって人は何が変わるのか。今回は静坐法について解説します。(増山)

今月の「表紙」

▼今ではなかなか見られなくなった、ダイコンのはざかけ。ダイコンを、かけ声もなく投げ渡し、掛けてゆくその様は、まさにあうんの呼吸。天日干しにしたあとは、たくあんにするのだそう。噛めば噛むほど味の出るたくあんのように、読めば読むほど味が出るような文章を書けるように頑張ります。(〇)

【表紙の写真ダイコンのはざかけ(大草町)】